

大規模地震に備えて



9月4日(日)、南海トラフの巨大地震発生を想定し、「令和4年度郡上市防災訓練(現地訓練)」を実施しました。高鷲小学校周辺を会場とし、自主防災会など160人が参加し、新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所設営や救助訓練などを行いました。



◀消防隊員らによる放置車両の移動



◀避難所受付では避難者の体温を確認



◀システムを使った被害状況の確認



◀間仕切り段ボール等を使った避難所の設営

大規模地震発生確率80%

南海トラフ沿いの大規模地震の発生確率が高まっています。郡上市でも震度5以上を観測すると予想されており、30年以内の地震の発生確率は、70%〜80%とされています。

感染症対策と災害対応

約160人が参加

高鷲小学校体育館では、自主防災会と市が連携し、コロナ禍における避難所の運営について訓練しました。

屋外では、北消防署と市消防団高鷲方面隊が連携し、放置車両と倒木によって発生した孤立集落からの住民救出や要救助者の救助訓練を実施しました。また、災害対策本部及び災害対策支部が連携し、被害想定に基づく災害対応訓練を実施し、職員の初動動作や災害対応、協定等の確認をしました。

非常時の備品を確認

地震は予測が困難です。突如襲い掛かる自然の猛威から命を守るために、「非常持出品」と「非常備蓄品」を定期的に確認し、災害を乗り切る備えをしましょう。

問 総務部総務課